

春系キャベツ 「YR初美636」産地評価と栽培のポイント

雪印種苗(株) 千葉研究農場

作物研究室 佐々木 則 雄

1 はじめに

平成11年夏より販売を開始しました『YR初美636』は、春系キャベツが周年供給される東日本を中心に、生産者および消費者から高い評価を頂いております。

今回はYR初美636（以下『初美』）の特性を踏まえた産地評価を中心にご紹介いたします。

2 主要特性

定植後55～60日で収穫できる春系キャベツ

耐病性

- ア) イオウ病完全抵抗性（Aタイプ）
- イ) 黒腐病に比較的強く、黒斑細菌病にはかなり強い。
- ウ) 春系としては軟腐病、菌核病に強い。

在圃性

- ア) 結球は内部が充実しながら肥大するタイプで裂球が極めて遅く、出荷調整がしやすい。

収穫

- ア) そろい性が高いので収穫回数が少なくすむ（写真1）。

球の形状、品質

- ア) 春播きでは甲高球、夏播きではやや扁円となる。
- イ) 締り良く、五角玉が少なく玉そろいが良いため定数詰め出荷に最適。内色は黄色味があり品質良好で、葉質は柔らかく歯切れ良く、味は青臭みが少なく高品質。

3 産地事例

高冷地（岩手県岩手町）（写真2,3）



写真1 高冷地春播き試験 群馬県嬭恋村

東北地方を代表する春系キャベツの初夏～秋取りの産地に位置し、栽培体系は播種開始3月中旬、播種終了7月上旬です。

平成11年にYR初美636の試作を実施した結果、耐病性、そろい性、収穫歩留まり等が評価され、平成12年より本格的に導入されました（表1）。主要品種の早生春系Sは高温期の作型で裂球、軟腐病、菌核病の発生が多く、収穫率の低下がみられたのに対して、初美は耐病性強く収穫率が高いことが実証されています。

特に、最終の播種時期は従来品種では良質球ができなかった作型ですが、耐病性、在圃性に優れた初美の導入により、作期の拡大が可能となりました。

平坦地（千葉県東総地区）（写真4,5）

銚子市を中心としたこの地域は、冬期の比較的温暖な気候により春系キャベツの産地として知ら



写真2 高冷地春播き栽培 4月下旬播種（7月29日撮影）岩手町



写真4 東総地区の圃場風景 銚子市小浜地区より飯岡町を望む



写真3 高冷地春～初夏播き栽培 手前の圃場は6月下旬播種（7月29日撮影）岩手町



写真5 夏播き育苗状況 地床育苗が中心でそろった苗を定植する。

表1 岩手県岩手町の『YR初美636』導入後の播種体系

播種期	使用品種	初美の評価
3月中旬	S 2号（他社）	尖り玉になる。
3月下旬～ 4月中旬	S（他社）	やや尖り～丸玉になる。
4月中下旬～ 6月末	YR初美636	耐病性、在圃性に優れ、収穫率、秀品率が高い。
7月10日 （拡大作型）	YR初美636	耐寒性強く品質良好。

れています。作型は、夏播き・晩夏播き・秋播き・春播きで構成され、出荷は10月中旬から翌年の6

月末まで続き、品種構成も作型により適品種が使用されています。しかし、平成10年の台風5号の被害、平成11年の残暑の長期化、平成12年の秋の長雨など気象による収量低下や、地域によりイオウ病の発生など問題点が見られます。

初美のこの地域での適作型は、春播き（2月上旬～3月上旬播種、5月末～6月末収穫）、夏播き（7月下旬～8月上旬播種、10月下旬～11月中下旬収穫）です。平成7年の夏播きより試作を開始しましたが、平成10年の台風5号通過後の回復が早く、主要品種と比較して収穫期の遅れが少なく、収穫率の低下もわずかであったことや、平成12年



写真6 黒斑細菌病の発生例 銚子市
 左：他社品種 長雨のため激発した。
 右：YR初美636 健全に生育している。

9月の長雨による黒斑細菌病・黒腐病に対して主要品種と比較して強く(写真6)、イオウ病の発生圃場でも安定生産できたことから、そろい性・在圃性・品質・耐病性が評価され、初美を導入する生産者が年々増えています。

JA海上町飯岡中央支所は平成11年の夏播きから導入し、差別化販売で成功しています(写真7)。

4 栽培のポイント

試作および導入される産地の拡大に伴い、初美の特性が発揮されていない例も見られます。ここではそれらの点に絞ってご紹介いたします。

圃場の選定

ア) 耐病性は強い方ですがネコブ病・パーティシリウム萎凋病には弱いので、汚染圃場での栽培は避けてください。

播種時期の設定

ア) 秋播き春取りの作型は抽苔するので不適です。
 イ) 春播きでは、播種時期が早すぎると尖り玉となります。特に高冷地の栽培では、圃場の標高差による播種時期の微調整が必要になります。

管理

ア) 春播き栽培の生育後期は、高温下で旺盛に生育しますが、肥効がきれやすい時期のため、外葉の色・ブルームの発生程度に注意し、肥料切れにならないよう管理します。肥料切れ



写真7 出荷荷姿 JA海上町飯岡中央支所

になると草勢の消耗により黒腐れ病が発生しやすくなります。

5 おわりに

キャベツ生産者は、新病害やオオタバコガ等の新害虫の発生、また、数年来の異常気象により大変ご苦労されています。一方では、消費者の安全な農産物への意識が高まり、無農薬・減農薬野菜の需要が増加しています。

私どもは「生産者・消費者双方に喜ばれる品種」を目標に品種開発を進めておりますが、耐病性に優れ、不良環境に強く食味等品質良好な『初美』が、皆様の要望に一步でも近づいた品種であることを願っております。

新発売 **《こまつな》**
CM-1 全日本そ菜原種審査会
 一等特別賞受賞品種

高温時期でも徒長しにくく、生育がゆるやかで収穫の幅が広い。
 草姿は極立性で、葉数が多く、株張りが良い。

地域	作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北高冷地	ハウス				●								
	露地				●								
一般温暖地	ハウス				●								
	露地				●								

●●：播種期 ■■■：収穫期